



# 森松家族忘年会 2018

2018.12.08 金山サイプレスガーデンホテル



12月8日(土)に金山サイプレスガーデンホテルにて、恒例行事の家族忘年会が開催されました。会場は終始盛り上がり、特に山田さん率いる太鼓演奏(新郊女子太鼓)が大盛況でした。幹事としては無事に締めくくることができ安堵いたしました。  
実行委員長 西垣



今回2回目の参加となる家族忘年会で、顧問の挨拶から始まり、サプライズの太鼓演奏、ビンゴゲームなど子供から大人まで楽しめた会でした。社員のご家族と接する機会がなかなか無い中、このような行事がありとても楽しく参加させていただきました。来年も楽しみにしております。  
実行委員 則武

## 2019年明けて&昨年を振り返り

森 直樹 (代表取締役社長)



新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。  
2018年を振り返りますと、個人的には6月中旬より社内の不祥事による環境の変化に翻弄される日々が続きました。現時点では改善されましたが、普段想像だにしないことが起きると、いかに冷静に事に当たる事が大切か、しみじみと実感しました。そういう経験ができたという点では貴重な時間を過ごした一年でした。そして、年間の個人行動指針とも言うべき2019年の私のメール署名は、「2分ルール」としました。これは、「2分以内で片付くことはすぐに取り掛かり、片付ける」という意味です。実際すぐに片付けられるはずなのに、取り掛かれない何かがあり、結果細かな仕事が溜まっていく...というのが私のまずいときの行動パターンです。なので忙しいときこそ、落ち着いて出来ることは即座に片付ける。これを2019年に習慣化出来るよう心がけていきたいと思ひます。大局的には、働き方改革が求められる中小企業を取り巻く環境、日々ニュースとなるマイクロプラスチックを始めとしたプラスチック業界を取り巻く環境、いずれも厳しい環境で有ると言わざるを得ない状況です。ですがここに表明した通り出来ることから手を付けていき、そこからより大きな問題に取り組んでいく流れを作っていく一年にしていきます。2019年もよろしくお願ひ申し上げます。

## 冬の味覚

光田 昭男（営業部）



冬の楽しみ！越前ガニ。福井県へ新規開拓で売り込みをしたのが、約35年前になります。お客様からお土産でいただいたのが、せいこでした。お客様から、「せいこ知ってる？」と聞かれたことからせいこを知ることが出来ました。はっきり言って、小さくてほとんど身は食べることができませんが、知ってしまうとせいこを食べたくなくなってしまいます。せいこどんぶりは最高です。11月6日に、オスと共に解禁になり資源保護のため来年1月10日に禁漁になってしまいます。せいこはオスよりも小さく、おなかに卵を抱えています。きれいなオレンジがかった色をしているのが未受精卵「あかこ」と呼ばれます。暗い赤でワイン色をしている卵は、すでに受精を終えた卵で、「くろこ」と呼ばれます。甲羅の中には「内子」と呼ばれる赤いみそがあり、このみそがまたおいしいです。みそ・身を味わうのは、やはりオスです。ゆでたてを食べるのがたまりません。オスは1kgを超えるのに10年ほどかかり、甲羅の幅は12～15cm、全長は70～80cmくらいまで大きくなります。水深200m～400m、水温1度～3度ほどの暗い冷たい海の底に生息しているそうです。価格はその時期によるが、1.0kgで15000円、1.2kgで20000円、せいこは1000円～2000円で買うことが出来ます。12月上旬に買いましたが、1300円でとても美味しかったです。ご存知でしょうが、産地偽造の被害から身を守る為、地元で水揚げされたかたに、地元産を証明する「標識」（プラスチック製のタグ。表と裏に産地と港の名前が書いてある）。産地で呼び方が変わりますが、タグの色は、福井県なら黄色、石川・兵庫なら青色、京都府が緑色です。どこかで見かけることがあれば、タグを知っていると美味しい蟹が食べられますよ。

## 我が家のお正月

伊東 郁二（特販部）



私の2人の姉の系列（9名+9名）と私の系列12名の総勢30名が集合しておりました。しかし、いろいろな理由でなかなか30人全員が揃うことが難しくなってきました。この5年ほどは、私の系列のみで「1月の第1土曜日」を「伊東家正月」として12名でやっております。正月1日～3日の間は、それぞれの系列で来れる人が別々に集まり、私の母親が一番楽しみにしている行事ですが、長男坊は多方面において大変な勝負の行事となります。「お節料理」も時代とともに変化しています。一般的な定番品を少なめにし、最近では、人気の手作りチャーシューと手作り栗きんとん、手作り卵焼きが売れ筋となっております。有頭海老の塩焼きから今では有頭エビフライに代わり、天ぷら・ハム類・各種煮物品が定番となりテーブルを飾ります。正月の行事として、お屠蘇の習慣があり、少なくとも57年以上、継続されております。子供たちの友人や姪が連れてくる海外の友達などは、お屠蘇の習慣に興味津々です。お屠蘇は平安時代には飲まれており、一般庶民に普及したのは江戸時代からの様です。正月にお屠蘇を飲むのは、お屠蘇の「屠」は「邪気を追い払う」という意味で、「悪いものを追い払い、家族全員が健康で長生き出来ます様に...」という意味だそうです。お屠蘇の「蘇」は「死んだ者（魂）がよみがえる」という意味があるそうです。「一人これを呑めば一家病無く、一家これを呑めば一里病無し」と言われております。お屠蘇のパックは、スーパーで聞いても取り扱いは無く、年末が近くなると一部の薬局や薬店で購入しております。1月第一金曜日の夜、日本酒やみりんなどに浸して準備しております。独特の香りと味なので、我が家ではワインを入れたりして呑みやすくしています。お屠蘇は、屠蘇器（とそぎ）と言う、専用の容器を使用しております。銚子（ちょうし）、屠蘇を注ぐ盃、重ねた盃をのせる盃台、これらを載せる盆からなっています。（画像参照）小・中・大の三種の盃を用いて、小盃⇒中盃⇒大盃⇒小盃...と年少者から年長者へと順番に呑んでいきます。お屠蘇に興味を持たれた方は、毎年1月第一土曜日に開催します。年中、騒がしい家なので、苦手な人は、耳栓を持参してどうぞお越してください。





## メイカーズピア (Makers Pier)

西垣 浩司 (製造部)



新年明けましておめでとうございます。

先月、家族でポートメッセの近くに隣接していますメイカーズピア (Makers Pier) に出かけました。駐車場を出るとカラフルな街並みが広がっており、最初にウェルカムセンターに寄って施設案内、イベント情報などをチェックしました。皆で何処へ行くか検討後、妻と娘、息子と私で昼食まで分かれて行動することになり好きなところに向かいました。傘が気になっていたので息子と和傘屋北斎グラフィックへ行きました。店内にはオリジナルのモダンな和柄をあしらった和傘が揃っていて、普段使い慣れている折り畳み傘、長傘に比べると時代に合わせた折り畳み傘、長傘も用意されていました。折り畳み傘は女性の方でも持ち運びが苦にならないぐらい軽量タイプで、長傘は16本の骨組みで和テイストなデザインでこちらも軽量タイプでした。妻と娘はお香グッズとブレスの販売をしているお香専門店香源と言う店に出向き、そこでは手軽に匂い袋製作や線香製作などの体験もでき、自分だけの香りを



作ることが出来るそうです。食後にアップタウンの街角で今話題のウォールアートを発見し、娘と息子がまるで天使の羽が生えたようなフォトジェニックな写真が撮れたのが新鮮で且つ斬新でした。たまには家族で出かけるのも新鮮な気持ちになれた一日でした。

## ダイエット

稲葉 善貴 (製造部)



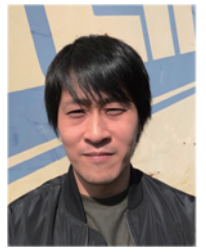
昨年の3月に長男が5年間所属していた少年野球チームを卒団して以来、土・日曜日に時間を持て余すようになっていました。ダイエットもかねて何か運動をしようと思い4月からプールに通い始めました。私は小学生のころスイミングスクールに3年間通っていたので一通りの種目は泳げるようになっていて、中学では水泳部で夏場には1日2～3km泳いでいたので軽い気持ちで始めたのですが、驚くほど泳げなくなってクロールで50m泳いただけで腕が回らなくなってしまいました。周りを見てみると自分よりも年配の方々が50mプールを休憩もせず何往復も立て続けに泳いでいます。ショックを受けましたが同時に自分もあの方たちの様に泳げるようになりたいと思いました。そのためにもまず減量をしようと思い食事制限と週に3～4回水中ウォーキングを3か月ほどしました。おかげで80kgあった体重を73kgまで減らすことができました。



さあそろそろ泳ごうということでクロールを泳いでみましたが、やはり50mほどで腕が回らなくなってしまいます。それからは地道にクロール50m、バタ足50mのセットを繰り返し徐々に伸ばしていき今では100mまで泳げるようになりました。また毎年身体検査で引っかかっていた体調面でも改善されることがあり、運動の大切さを実感することができました。まだクロールで泳ぎ続けることはできませんが、これを目標に続けていきたいと思っています。

## 期待通り？

大脇 勝治（製造部）



6月7日午後3時すぎ、大阪市のUSJの人気水上ショー『ウォーターワールド』のショーの最中にキャスト同士が接触。キャストの20代男性が病院に搬送された事故が起きました。ショーは事故の影響で中止されたものの、約3000人の観客にケガはなかったそうです。速やかな対応で大事に至らなかったそうですが『ウォーターワールド』でこのような事故が起きるのは初めてとのこと。5月28日には人気アトラクション『ザ・フライング・ダイナソー』で発進直後に緊急停止、乗客35人が一時宙吊りの状態になるという事態に。同アトラクションでは、同月1日にも約高さ30mの地点で緊急停止。64人の乗客が2時間かけて避難するという事故が起こっている。また、4月3日にはジェットコースター『ハリウッド・ドリーム・ザ・ライド』で緊急停止。そして、2月にも後ろ向きに進行する『ハリウッド・ドリーム・ザ・ライド バックドロップ』でも緊急停止。相次ぐ事故の根元は2016年に期間限定で開催されたホラーアトラクション『祟 (TATARI) ～生き人形の呪い～』の呪いではないかと噂されています。驚くことに、このアトラクションで使用した数百体にも及ぶ人形は和歌山県にある人形供養で有名な淡嶋神社に奉納された人形から借りたものであった。つまり、ガチの人形を置いたお化け屋敷をUSJは作っていたそうです。因果があるのかないのか定かではありませんが、これは何かあるかもしれない！などと理由を並べ、日帰りUSJの旅に向かいました。さまざまな期待を胸に向かったUSJ。特に何も事件は起きる訳もなく、笑顔が沢山見られた期待通りの1日となりました。

## 白糸の滝

間部 彩（森松産業）



先日富士山の麓にある白糸の滝に行って来ました。白糸の滝は昭和11年、国の名勝及び天然記念物に指定され、昭和25年10月には「観光百選 滝の部」で1位、平成2年には「日本の滝百選」にも選定されています。古くからその見事な眺めが人々に愛されている滝です。駐車場から滝までは遊歩道を通って行くのですが、小さな売店が並んでおり、お土産や富士宮焼きそばなどの食べ物が売られているので立ち寄っていくのもいいと思います。また、途中には音止（おとどめ）の滝と呼ばれる滝があり、高さ25mの絶壁から轟音をとどろかせています。ものすごい迫力にただ圧倒されます。側にある看板によると、その昔、曾我兄弟が父の仇の工藤祐経を討つ相談をしていた際、滝の音で声が遮られた為、しばし神に念じたところ一瞬滝の音が止んだという伝説からこの名が残されていますとのことでした。その他遊歩道には滝までは少し距離がありますが、展望台スポットもあります。5分ほど歩き、ゆるやかな長い階段を降りると滝つぼまで到着します。高さ20m、幅150mの湾曲した絶壁の全面にかかる白糸の滝は、本滝の一部を除いてそのほとんどが富士山の湧水で、年間を通じて水温12℃、毎秒1.5トンの湧水が流れ出しているとのこと。先ほどの豪快な音止の滝とは対照的で、岩壁の間から白い絹糸のように流れるさまは、白糸の名にふさわしく、とても美しく優しい景観です。空気もきれいでマイナスイオンに包まれてとても癒されます。また訪れたいと思うような素敵な場所です。ただ、夏でも体が冷えてしまうので長居をするなら服装に気を付けた方が良いでしょう。この日はあいにく天気が曇りということもあり、富士山を望むことができなかったのですが、富士五湖や富士宮からのアクセスも良いので、近くを訪れるのなら是非プランに入れていただくことをおすすめします！

